

Panasonic[®]

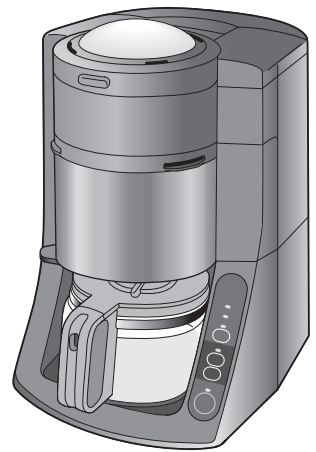
取扱説明書

沸騰 浄水 コーヒーメーカー (家庭用)

品番 NC-A57

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



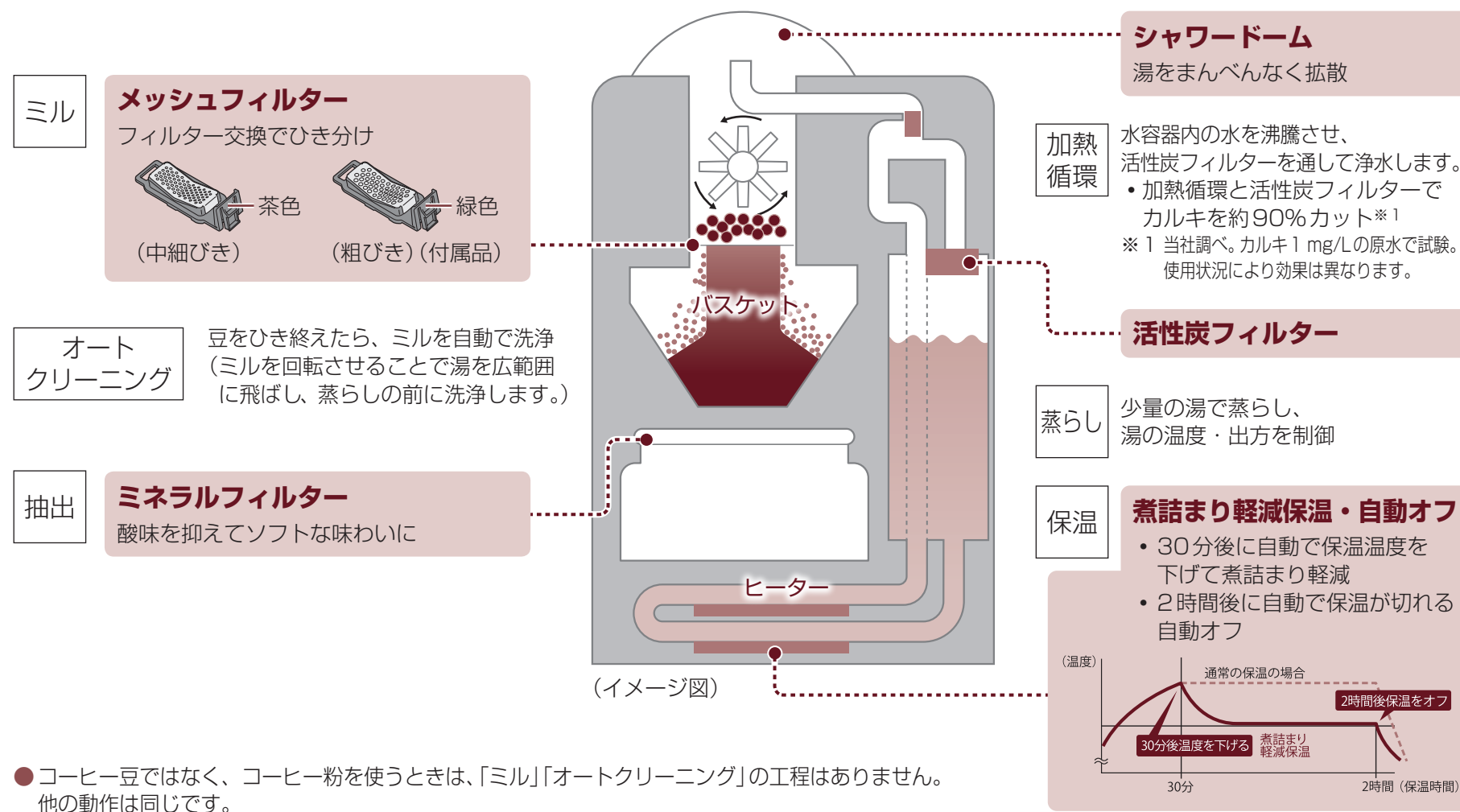
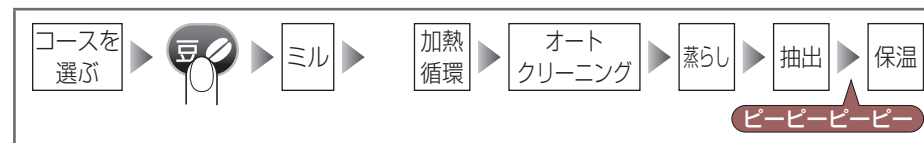
保証書付き

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします。(P.22 参照)

CZ45-1674
S0918Y40522

豆からドリップまで全自動で ひきたてのおいしさ

- 豆と水をセットしたら、ボタンを押すだけで自動的に、豆をひいて蒸らし、コーヒーを抽出します。



もくじ

ページ

確認とご注意

安全上のご注意	4
使用上のお願い	5
各部の名前・付属品と扱い方	6

毎日の使い方

コーヒーをいれる	8
● メッシュフィルターを交換する	9
● 酸味調節のしかた	9
● でき上がり時間の目安	15
お手入れする	16

必要なとき

故障かな？	18
消耗品・別売品	20
仕様	20
保証とアフターサービス	21

ひき方、抽出コースの組み合わせで お好みのコーヒーが楽しめます

コース メッシュ フィルター	マイルド	リッチ
粗びき	渋み少なくマイルドに ・まろやかなストレート ・アメリカンコーヒー	渋みをおさえて後味良く ・スペシャルティコーヒー ・ブレンドコーヒー
中細びき (ふつう)	コクと苦味のバランス ・コクのあるストレート ・ブレンドコーヒー	コク、苦味をしっかりと ・アイスコーヒー ・カフェオレ

- 同じ組み合わせでも、豆の種類によって味が変わります。
 - コーヒー名称は参考例です。
- スペシャルティコーヒーとは…**
 際立つ素晴らしい風味を持つとともに、豆の栽培から流通、ばい煎までの品質管理を適正に行われたコーヒーの中でも、特に認められたもの。

デカフェ豆でいれるときは
デカフェ豆コース※2

高温で蒸らし、時間をかけて抽出することで、デカフェ豆のコクを引き出します。

※2 カフェイン除去はできません。
 市販のデカフェ豆のみお使いいただけます。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
---------------------------------	--------------------------------------------



■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------


警告




電源プラグやコードは…


-  ●コードや電源プラグを破損するようなことはしない
傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる、挟み込むなど
(感電・ショートによる火災の原因)
➡修理は、販売店にご相談ください
- コードが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない
(感電・ショートによる発火の原因)
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
(感電の原因)
-  ●交流 100 V・定格 15 A 以上のコンセントを単独で使う
(感電や発火の原因)
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
(発煙・発火・感電の原因)
- 電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く
(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因)
➡電源プラグを抜き、乾いた布でふく

本体は…

-  ●幼児の手の届くところには置かない
- 子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わない
(やけど・感電・けがの原因)
- 本体を水につけたり、水をかけたりしない
(感電・ショートによる発火の原因)
- 自分で絶対に分解や修理、改造をしない
(火災・感電・けがの原因)
➡修理(消耗品の交換は除く)は販売店にご相談ください


使用中は…

-  ●ガラス容器なしで使わない
(やけどの原因)
- 蒸気が出る所に触ったり、顔などを近づけない
(やけどの原因)


-  ●異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く
(発煙・発火・感電・けがの原因)
<異常・故障例>
 - 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
 - コードに傷がついていたり、通電しなかったりする
 - 本体が変形したり、異常に熱くなったりする
 - 使用中に異常な回転音がする➡すぐに販売店に点検・修理を依頼してください
- ガラス容器の取っ手がぐらついたり、容器にひび割れなどができた

注意

本体や各容器の取扱いは…

-  ●不安定な場所で使わない
- 熱に弱い敷物の上、火気の近くやIHクッキングヒーターの上で使わない
(火災の原因)
- 豆容器の刃(ミル)は鋭利なため、直接手を入れない、触れない
・お手入れ、保管時は特にご注意ください
➡粉を落とすときは棒などを使う
(けがの原因)
- 抽出中にガラス容器や水容器を外したり、豆容器ふたやバスケットを開けない
- 保温中に水を追加したり、水容器に水が入っている状態で保温/取消ボタンを押さない
- ガラス容器を載せたまま本体を動かさない
(やけどの原因)
- 壁や家具の近くで使わない
(蒸気による変形・変色の原因)
- ガラス容器が熱くなっているときに水をかけない(割れてけがの原因)

電源プラグは…


-  ●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
(絶縁不良による感電や漏電火災の原因)
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持つ
(感電やショートによる発火の原因)

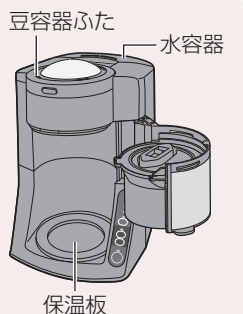
使用上のお願い


- 車両・船舶などや屋外での使用を想定した構造になっていません。

発火や、けがなどを防ぐために…



-  ●使用中や使用後しばらくは保温板・水容器・豆容器ふた周辺に手を触れない
(やけどの原因)

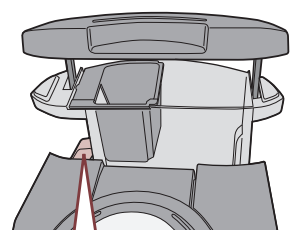


-  ●お手入れ・持ち運び・活性炭フィルター・メッシュフィルターの取り外しは冷えてから行う
(やけどの原因)

各部の名前・付属品と扱い方

水容器

■取り外し方・取り付け方

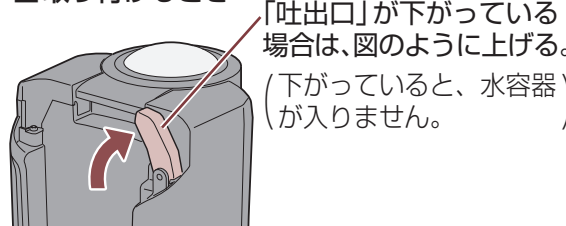


取り外す

取り付ける

●奥まで
押し込む。

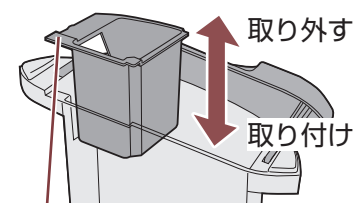
■取り付けるとき



「吐出口」が下がっている場合は、図のように上げる。
(下がっていると、水容器が入りません。)

■活性炭フィルターを着脱するとき

水容器を本体から取り外した状態で行う。



取り外す

取り付ける

「ツバ」を左側に向け、水容器の左端にセットする

ご使用前に

初めて使うときや長期間使っていなかったときは、次のように洗浄してください。

① 各部品を洗う (P.16～17)

② 取り付ける

③ 水容器の目盛り「ホットコーヒー 5」

まで水を入れて本体にセットし、

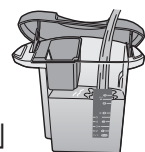
粉を押す (P.12～13)

●しばらくすると、ガラス容器に湯がたまります。

●約10分後に「ピーピーピー」と鳴り、保温になります。

④ 保温を押して切り、湯を捨てる

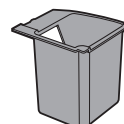
(③～④を1～2回繰り返す)



水容器

活性炭フィルター

消耗品 (P.20)



●初めて使うときは、微粉を落とすために必ず流水ですすぐ。
(P.16)

豆容器

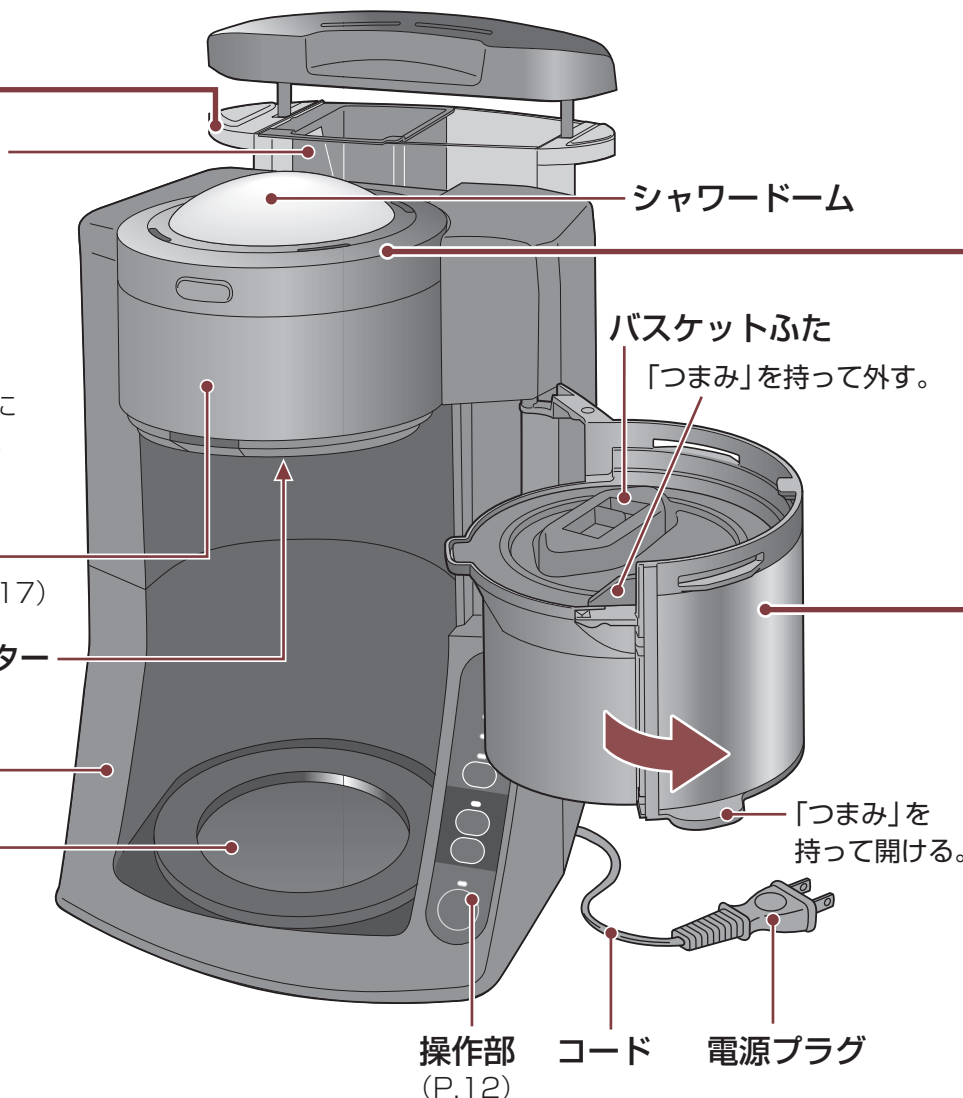
刃(ミル)つき (P.17)

メッシュフィルター

(中細びき) (P.9)

本体

保温板



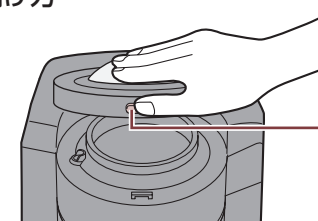
操作部
(P.12)

コード

電源プラグ

豆容器ふた

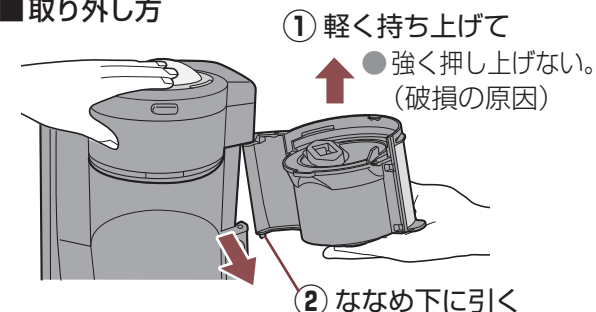
■開け方



「ボタン」を押して開ける

バスケット

■取り外し方

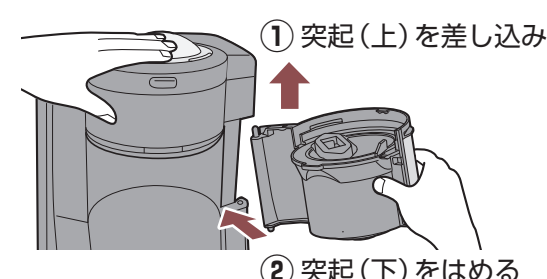


① 軽く持ち上げて

●強く押し上げない。
(破損の原因)

② ななめ下に引く

■取り付け方



① 突起(上)を差し込み

② 突起(下)をはめる

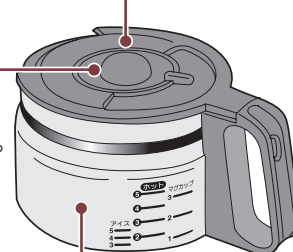
ガラス容器ふた

ミネラル

フィルター

(P.9)

●交換は不要です。



ガラス容器(完成ガラス容器)

●目盛りはでき上がり量の目安。

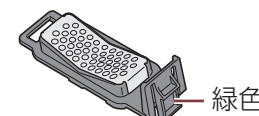
1カップ: ホット(約120 mL)

アイス(約60 mL)

マグカップ(約180 mL)

付属品

メッシュフィルター (粗びき) (1個)

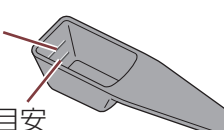


緑色

計量スプーン※1 (1個)

1/2量の目安

1/4量の目安



コーヒー豆・粉

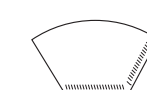
すりきり1杯約7～8 g

●豆の種類や、ばい煎の度合いによって重さは異なります。

※1 梱包用の発泡スチロールの上に入っています。

※2 取扱説明書が入っている袋の中に入っています。

ペーパーフィルター※2 (5枚)



●市販のものも使えます。
サイズ: 「1×2」
または「102」

豆量ガイド※2

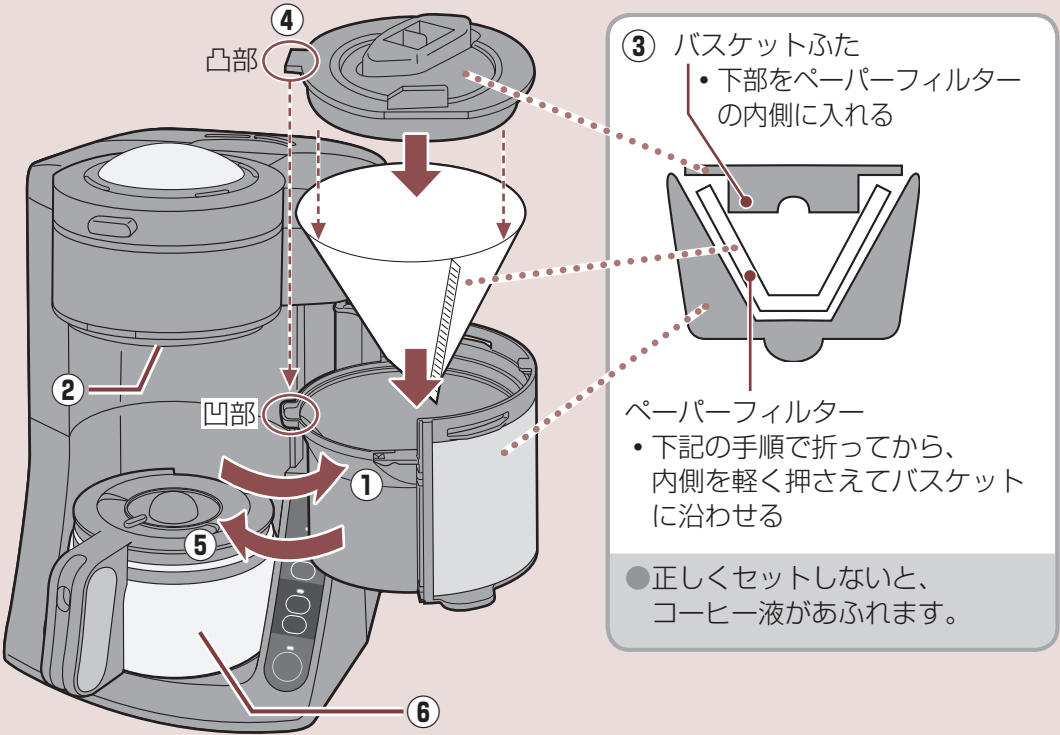
●本体に貼ってください。



コーヒーをいれる

1 ペーパーフィルターをバスケットにセットし ガラス容器を保温板にのせる

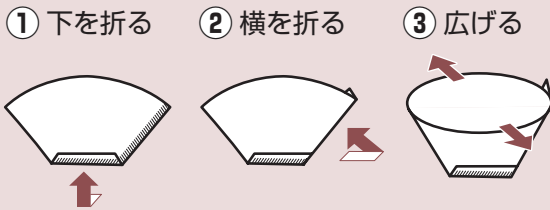
- ① バスケットを開ける
- ② お好みに応じて、メッシュフィルターを交換する
(お買い上げ時：中細びき) (P.9)
- ③ バスケットふたを取り外してペーパーフィルターをセットする
- ④ バスケットふたを取り付ける
・バスケットふたの凸部とバスケットの凹部をあわせる
- ⑤ バスケットを閉める
- ⑥ ガラス容器を保温板にのせる



お願い

- ガラス容器を他の熱源（電子レンジやコンロなど）にかけたり、傷をつけたりしないでください。（破損の原因）
- バスケットふたを必ず取り付けてください。（取り付けないと、ボタンを押してもブザーで知らせてスタートしません。P.18）

ペーパーフィルターの折り方



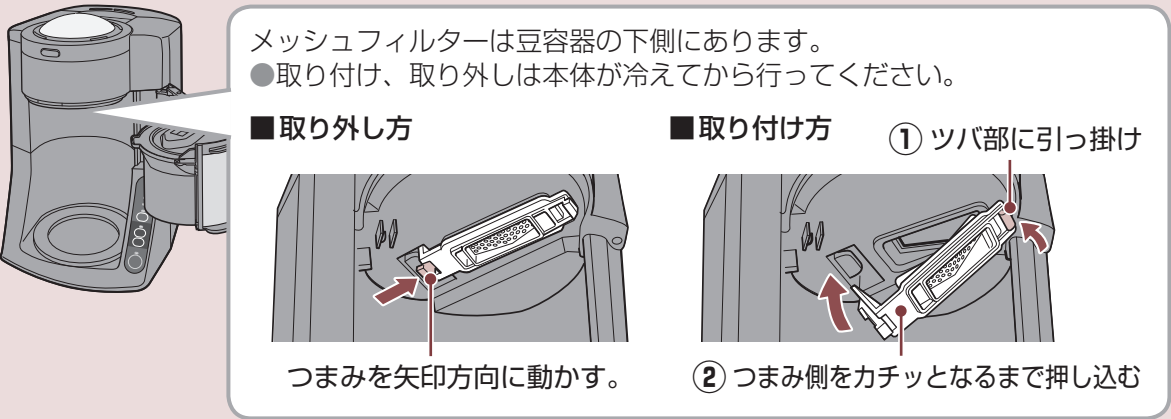
メッシュフィルターを交換する

メッシュフィルター（中細びき／粗びき）とコースの組み合わせでお好みの味に仕上げます。
● お買い上げ時には、中細びきを取り付けています。

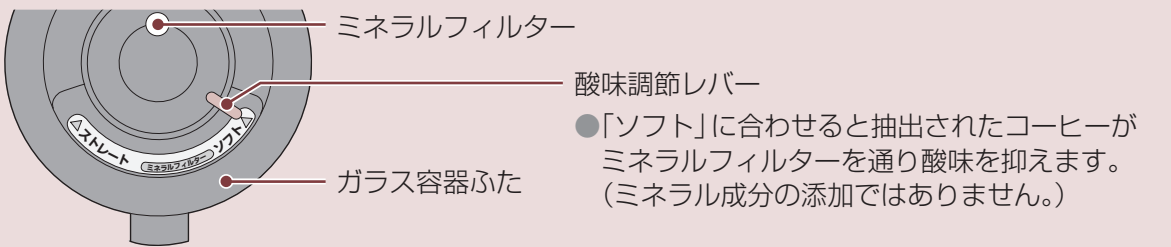
■ おすすめの組み合わせ

コース	マイルド	リッチ	デカフェ豆
メッシュフィルター 粗びき (付属品)	渋み少なくマイルドに ・まろやかなストレート ・アメリカンコーヒー	渋みをおさえて後味良く ・スペシャルティコーヒー※ ・ブレンドコーヒー	味が薄くなるためおすすめしません
メッシュフィルター 中細びき	コクと苦味のバランス ・コクのあるストレート ・ブレンドコーヒー	コク、苦味をしっかりと ・アイスコーヒー ・カフェオレ	高温で蒸らし、時間をかけて抽出することで、デカフェ豆のコクを引き出す

※スペシャルティコーヒーについては (P.2)

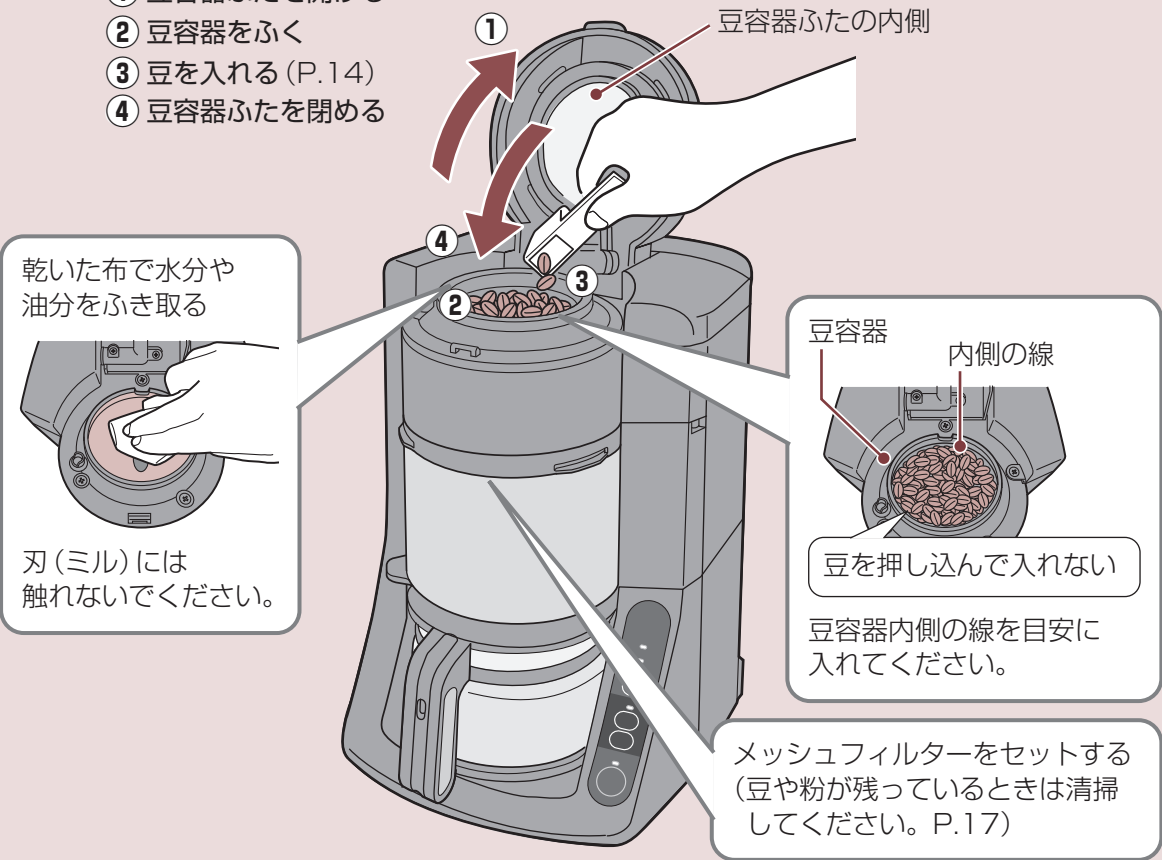


酸味調節のしかた



2 コーヒー豆を豆容器にいれる

- ① 豆容器ふたを開ける
- ② 豆容器をふく
- ③ 豆を入れる (P.14)
- ④ 豆容器ふたを閉める



豆残りを防ぐために...

- 豆容器ふたの内側・豆容器・メッシュフィルターがぬれている場合はふき取ってください。(豆が付着して容器内に残ります。)
- 湿った豆*を入れないでください。(ブザーと表示で知らせ、運転が止まります。P.19) ※水分がついた豆や保管中に湿気を帯びた豆です。
- 油分が多い豆(アイスコーヒー用、エスプレッソ用など)を入れるときは、特に豆容器の水分や油分が残らないようにふいてください。(豆が付着しやすいため。P.14)

お願い

- 豆容器にコーヒー豆以外を入れないでください。(故障の原因)
- バスケットふたを正しくセットしてください。
- 豆容器ふた、バスケットは確実に閉めてください。(確実に行っていないと、ボタンを押してもブザーで知らせてスタートしません。P.18)
- メッシュフィルターに豆や粉が残ったまま放置しないでください。(メッシュフィルターが詰まり、豆がひけずに残り途中で停止します。)

コーヒー粉を使うとき

ペーパーフィルターにコーヒー粉を入れる



- コーヒー粉はペーパーフィルター用 (サイズ:「1×2」または「102」) を使ってください。
- 豆容器に入れしないでください。(抽出時に豆容器からコーヒー液があふれ故障の原因)

コーヒー豆(粉)量の目安 計量スプーンすりきり

いれたいコーヒー・コースに合わせた分量の豆(粉)を入れてください。

ホットコーヒー		
でき上がり カップ数	量の目安	
	リッチ/マイルド	デカフェ豆
1カップ	1¼杯	1½杯
2カップ	2¼杯	3杯
3カップ	3¼杯	4杯
4カップ	4¼杯	5杯
5カップ	5杯	設定できません

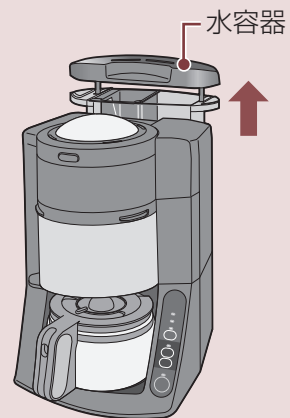
ホットコーヒー (マグカップ用)		
(でき上がりの量は、ホットコーヒーの約1.5倍になります。)		
でき上がり カップ数	量の目安	
	リッチ/マイルド	デカフェ豆
1カップ	2杯	2½杯
2カップ	3¼杯	4杯
3カップ	4½杯	5杯
4カップ	設定できません	
5カップ		

アイスコーヒー		
(濃いめにでき上がります。氷の入ったグラスに注ぐことで飲みやすい濃さになります。)		
でき上がり カップ数	量の目安	
	リッチ/マイルド	デカフェ豆
1カップ	設定できません	
2カップ	2¼杯	3杯
3カップ	3¼杯	4杯
4カップ	4¼杯	5杯
5カップ	5杯	設定できません

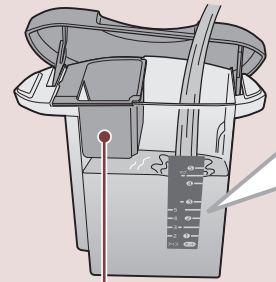
- デカフェ豆コースは、市販のデカフェ豆のみお使いいただけます。
- デカフェ豆は豆に含まれる成分が少なく、1カップに必要な豆の量が多いため、でき上がりカップ数は減ります。
- 計量スプーンすりきり5杯を超える量を入れないでください。(豆詰まりによる豆残り・豆容器ふた周辺からの湯やコーヒー粉の飛び散り・バスケットからのコーヒーあふれ・モーター故障の原因)

3 水容器に水を入れ、本体にセットする

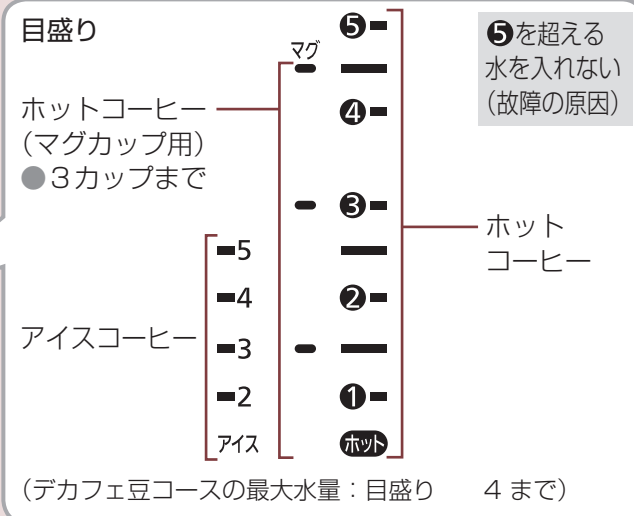
① 水容器を本体から取り外す



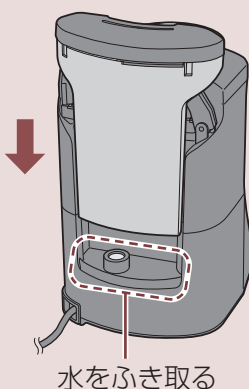
② 目盛りにあわせて水を入れる



活性炭フィルター
・水を注がない
(横から水が漏れます。)
・必ず取り付ける



③ 本体にセットする

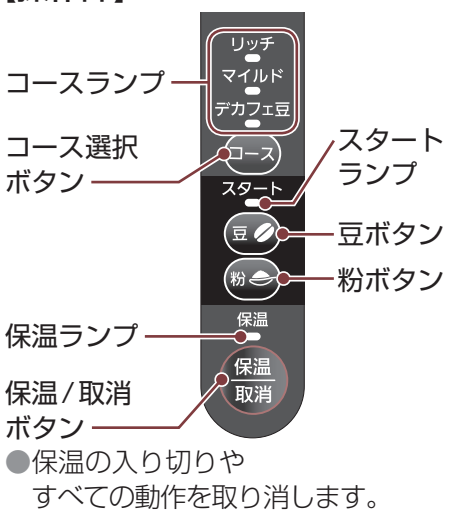


お願い

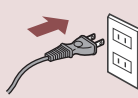
- **水を入れるとき**
 - ・水容器を本体にセットしてから水を入れないでください。(水が水管に流れ込むため水量が多くなります。)
 - ・湯を入れないでください。(勢いよく多量の蒸気が出ます。)
 - ・水以外(牛乳など)を入れないでください。(故障の原因)
- **セットするとき**
 - ・左図の:部(水がたまっている場合があります)に水をふき取ってからセットしてください。
 - ・水容器を奥まで押し込み、確実にセットしてください。(セットしていないと、ブザーと表示で知らせ、運転が止まります。P.19)
 - ・本体にセットした後は、水容器を外さないでください。(本体から水が出てきます。)
 - ・空だきをしないでください。

4 電源プラグを差し込み希望のコースを選んでスタートさせる

【操作部】



① 電源プラグを差し込む



② コース を押しコースを選ぶ
(選んだコースランプが点滅)

- コース を押すごとに、コースランプが切り替わります。(再度「リッチ」を選ぶと「ピピッ」と鳴ります。)



③ 豆または粉ボタンを選んで押す
(スタートランプが点灯)

- ひき始めは大きな音がします。



- コーヒーをいれているときは、モーターの音や水が本体内を循環する音がします。

自動的に保温 (保温ランプが点灯)

④ 「ピーピーピーピー」と鳴り、抽出が終了したらコーヒーを注ぐ

⑤ 使用後は 保温/取消 を押して保温を切り、電源プラグを抜く

- **でき上がり時間の目安 (P.15)**
- コーヒーをカップに注ぐときは、コーヒーがあふれだすのでガラス容器を傾けすぎないでください。
- ガラス容器を保温板に戻すときに勢いよく押し込むと、コーヒーが飛び出ることがあります。

切り忘れを防止するために、保温は約2時間で自動的に切れます。(P.3)



途中でコースを変更するとき

コースランプ 点滅中(約20秒間)に変更する。

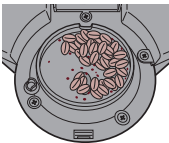
豆と粉を間違えて押したとき

- コーヒー豆を使うときに 粉 を押した → 保温/取消 を押して、豆 でやり直す。(豆がぬれている場合は、新しい豆でやり直してください。)
- コーヒー粉を使うときに 豆 を押した → ブザーと表示で知らせ、運転が止まります。(P.19)

コーヒーをいれる (つづき)

続けてコーヒーをいれるときは

- ① 保温取消を押して電源を切る
- ② 豆容器ふたの内側・豆容器の水分や豆の油分をふき取る (P.10)
(豆を使うときのみ)
- ③ P.8～13の手順1～4に従ってコーヒーをいれる
 - 水容器は、電源を切って2～3分たってからセットしてください。
(すぐにセットすると蒸気が勢いよく出ます。)
- 続けてコーヒーをいれると、2回目以降は味が濃くなることがあります。
- 豆の油分などが残っていると、豆容器に付着して残ることがあります。(P.10)



熱いコーヒーがお好みのかたは

- あらかじめカップを熱湯などで温めておいてから注いでください。

アイスコーヒーの作り方

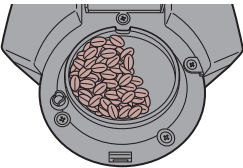
- 準備するもの
- アイスコーヒー用豆、粉
 - 氷
 - シロップ、生クリームなど



- ① P.8～13の手順1～4に従ってコーヒーをいれる
- ② グラスに氷を入れ、抽出したコーヒーを注ぎかき混ぜて冷やす
 - ガラス容器に氷を入れてかき混ぜないでください。(ガラスに傷がつき割れる原因)
 - アイスコーヒーを1カップ分だけ作ることはできません。2～5カップで作ってください。

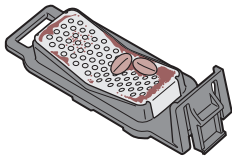
豆をいれるときは

少ない豆の入れ方



豆容器の穴に寄せて豆を入れてください。
(豆がひきやすくなります。)

メッシュフィルターをきれいに



メッシュフィルターに、豆や粉が残っていることがあります。使用前には、メッシュフィルターを清掃してください。(P.17)

でき上がり時間の目安 室温・水温20℃

ホットコーヒー			
でき上がりカップ数	時間の目安		
	リッチ	マイルド	デカフェ豆
1カップ	約6.5分	約6分	約7分
2カップ	約8分	約7.5分	約8分
3カップ	約9.5分	約8.5分	約9.5分
4カップ	約10.5分	約10分	約10.5分
5カップ	約12分	約11分	設定できません

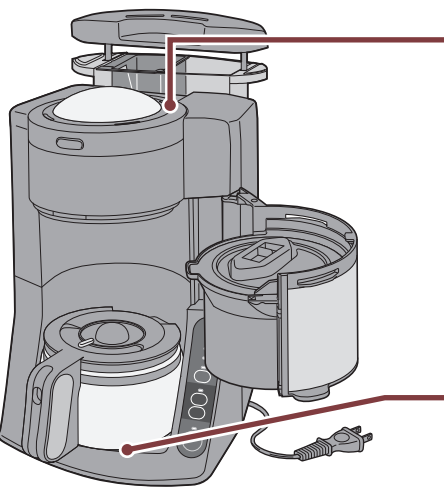
ホットコーヒー (マグカップ用)			
でき上がりカップ数	時間の目安		
	リッチ	マイルド	デカフェ豆
1カップ	約7分	約6.5分	約7.5分
2カップ	約9.5分	約8.5分	約9.5分
3カップ	約11分	約10.5分	約11.5分
4カップ	設定できません		
5カップ			

アイスコーヒー			
でき上がりカップ数	時間の目安		
	リッチ	マイルド	デカフェ豆
1カップ	設定できません		
2カップ	約6.5分	約5.5分	約7分
3カップ	約7分	約6.5分	約8分
4カップ	約7.5分	約7.5分	約8.5分
5カップ	約8.5分	約8分	設定できません

- コーヒー粉を使うときは、約1分短くなります。
- でき上がり時間・温度は、室温・水温や豆の種類・ばい煎の度合いなどによって異なります。

お手入れする

- 必ず電源プラグを抜いて、各部が冷えてから行ってください。
- 台所用洗剤（中性）を使う場合は、薄めて使ってください。塩素系の洗剤は使わないでください。（さびや故障の原因）



本体・豆容器ふた・豆容器

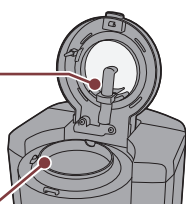
よく絞ったふきんでふき、乾かす

豆容器ふたの内側

- 飛び散った粉はふき取る（凹みに挟まっている粉は綿棒などで取り除いてください。）

豆容器

- 油分が残らないようふき取る（P.10）




保温板

汚れは、ふきんでふき取る

- 洗剤を使う場合は、必ず薄めた中性洗剤を使ってください。（漂白剤、酸性・アルカリ性洗剤を使うと、保温板の表面コートが剥がれる原因）

水容器（活性炭フィルター）・ガラス容器・ガラス容器ふた・バスケット・バスケットふた

やわらかいスポンジで洗う（下記にご注意ください。）

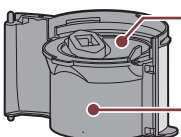


活性炭フィルター

水容器から取り外して洗ったあと、流水ですすぐ

- 活性炭フィルターの取り外し方（P.6）
- ブラシ・洗剤・漂白剤などを使わないでください。（傷やにおいがついたり浄水効果がなくなります。）

水容器



バスケットふた


バスケット

バスケットふたを取り外して洗ったあと、流水ですすぐ

- ① 上から水を入れる
- ② 滴漏れ防止弁を押し上げたまま2～3回振る

滴漏れ防止弁

- バスケットの取り外し方（P.7）
- 滴漏れ防止弁は、ガラス容器を外したときに、残った滴がバスケットから漏れないようにするものです。（粉が詰まると、弁が動かなくなりバスケットからコーヒーが漏れる原因）
- バスケットの中にあるリングが外れないようにご注意ください。（上から見たとき）



ガラス容器ふた

- 洗剤・漂白剤などを使わないでください。（ミネラルフィルターの効果がなくなります。）

ガラス容器

- 磨き粉・たわし・スポンジのナイロン面を使わないでください。（ガラス面に傷がつくと割れる原因）

- 食器洗い乾燥機・食器乾燥器・熱湯は使わないでください。（変形や割れる原因）
- いつも清潔な状態に保つため、**使用のたびにお手入れを行ってください。**

コーヒー豆をひき終わったら

メッシュフィルターに1～2粒程度の豆や粉が残ることがあります。故障ではありません。

メッシュフィルター

やわらかいスポンジで洗い、よく乾かす

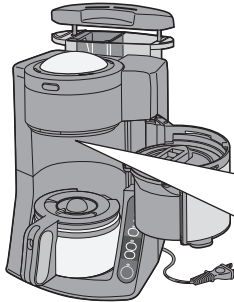
 茶色
(中細びき)

 緑色
(粗びき) (付属品)

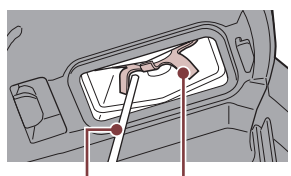
- 取り外し方（P.9）

ミル

メッシュフィルターを取り外し（P.9）棒などで刃（ミル）を回して粉を落とす（指で落とさない）



(下から見たとき)


棒など ミル



蒸気の量が増えたり、抽出スピードが遅くなったりしたら（クエン酸洗浄）

使っているうちに、水の中に含まれているミネラル分が本体の水管や水容器などに付着して「湯あか」になります。そのため、蒸気の量が増えたり、コーヒーの抽出スピードが遅くなったりします。

- 水質により湯あかの付き具合が変わります。ミネラル分の多い水質（特にヨーロッパ産ミネラルウォーターなど硬度が高いもの）は、湯あかが付きやすくなります。

クエン酸で洗浄する

必ずクエン酸100%のものを確認してお使いください。（当社のジャーポット洗浄用クエン酸は販売店で買い求めいただけます。P.20）

- ① 必ず活性炭フィルターを取り外す（P.6）
- ② 水容器の目盛り「ホットコーヒー 5」まで水を入れてからクエン酸約10g（大さじ1）を入れて、はしなどで混ぜる
- ③ 電源プラグを差し込み  を押して抽出する
- ④  を押して切り、湯を捨てる
- ⑤ 水だけで1～2回繰り返す（クエン酸のにおいを取るため）

お願い

- 活性炭フィルターを付けたまま、クエン酸で洗浄してしまった場合は、活性炭フィルターを流水ですすいでください。（クエン酸のにおいを取るため）（P.16）

故障かな？

お問い合わせや修理を依頼される前にご確認ください。

QRコードから、
詳しいサポート情報を
ご覧いただけます。



症 状	原 因 と 処 置
ボタンを押しても通電しない	●電源プラグが抜けている →しっかり差し込む
ボタンを押しても「ピーピーピー」とブザーが鳴り、スタートしない	●バスケットや豆容器ふたが確実に閉まっていない →バスケットや豆容器ふたを確実に閉める (P.8、10) ●バスケットふたを忘れている →バスケットふたをする (P.8)
「ピーピーピー」とブザーが鳴り、運転が止まった ・ミルの途中で／ミルが終わって ・保温中に	●バスケットや豆容器ふたを途中で開けた →ミルの途中で止まった、またはミルが終わって止まった場合 ・豆容器に豆が残っているときは[豆]ボタンを押す ・豆が残っていないときは[粉]ボタンを押す (P.12～13) →保温中に止まった場合 [保温／取消]ボタンを押す (P.12～13)
コーヒー豆が豆容器やメッシュフィルターに残る、またはひけない *メッシュフィルターに、 1～2粒程度の豆や粉が残ることがあります。 故障ではありません。	●豆を入れすぎた ●豆容器ふたの内側・豆容器・メッシュフィルターがぬれたままに豆を入れた ●湿った豆*を入れた ※水分がついた豆や保管中に湿気を帯びた豆です。 ●[粉]ボタンを押してスタートした →①電源プラグを抜いてからメッシュフィルターを取り外し、豆を取り出す (P.9) ②豆容器や豆容器ふたの内側、メッシュフィルターの水分をふき取る (P.16～17) ・新しい乾燥した豆でやり直す ●メッシュフィルターが詰まっている (P.17)
コーヒー粉がバスケットからあふれる	●メッシュフィルターを取り付けていない ●メッシュフィルターを確実に取り付けていない →お好みのメッシュフィルターを確実に取り付ける (P.9)
コーヒーがペーパーフィルターやバスケットからあふれる	●ガラス容器ふたをしていない →ガラス容器ふたをする (P.8) ●ペーパーフィルターを確実にセットしていない →ペーパーフィルターを確実にセットする (P.8) ●計量スプーン5杯を越す豆(粉)を入れた →計量スプーン5杯以下で入れる (P.11) ●滴漏れ防止弁に粉がつまっている →滴漏れ防止弁をお手入れする (P.16) ●メッシュフィルターを取り付けていない ●メッシュフィルターを確実に取り付けていない →お好みのメッシュフィルターを確実に取り付ける (P.9)
蒸気の量が多い、または抽出スピードが遅い	●湯あかが付着している →クエン酸で洗浄する (P.17)

症 状	原 因 と 処 置
運転中ブザーが鳴り ランプが点滅・点灯している リッチ ○——点灯 マイルド ○——点滅 または スタート ○——点灯 保温 ○——点滅	●豆を入れすぎで、詰まった →電源プラグを抜いてからメッシュフィルターを取り外し、豆を取り出す (P.9) →豆容器内側の線より上に入れない (P.10) ●湿った豆、ぬれた豆、油分の多い豆をひき、詰まった →①電源プラグを抜いてからメッシュフィルターを取り外し、豆を取り出す (P.9) ②豆容器や豆容器ふたの内側、メッシュフィルターの水分をふき取る (P.16～17) ・新しい乾燥した豆でやり直す
運転中ブザーが鳴り ランプが点滅している リッチ ○—— マイルド ○——交互に点滅	●メッシュフィルターや、刃に豆や粉が付着したまま豆をひいた (ミルが回り続けるため強制的に止まります。) →①電源プラグを抜いてからメッシュフィルターを取り外し、豆を取り出す (P.9) ②メッシュフィルター、刃についている豆や粉を取り除く (P.17)
運転中ブザーが鳴り ランプが点滅している スタート ○——同時に点滅 保温 ○——	●豆を入れ忘れた →①[保温／取消]ボタンを押す ②豆を入れ、[豆]ボタンを押す (P.12～13) ●コーヒー粉を使ったときに、[豆]ボタンを押した →①[保温／取消]ボタンを押す ②[粉]ボタンを押す (P.12～13) ●湿った豆、ぬれた豆、油分の多い豆をひき、詰まった →①電源プラグを抜いてからメッシュフィルターを取り外し、豆を取り出す (P.9) ②豆容器や豆容器ふたの内側、メッシュフィルターの水分をふき取る (P.16～17) ・新しい乾燥した豆でやり直す
運転中ブザーが鳴り ランプが点滅・点灯している スタート ○——点滅 保温 ○——点灯	●水容器に水を入れていない ●水容器を確実にセットしていない →①[保温／取消]ボタンを押す ②水容器に水を入れ、確実にセットする (P.12～13) ③[粉]ボタンを押す (P.12～13)

■上記の処置で直らない場合／上記以外でランプが点滅・点灯している場合
電源プラグを抜き、10秒以上たってから再度操作してください。
(それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。)

- ご使用に伴い、ミネラルフィルターが茶色に変色することがありますが、使用上差し支えありません。(交換は不要です。)
- メッシュフィルターの取り外しや取り付け、本体のお手入れで処置するときは、電源プラグを抜いてから行ってください。

故障かな？

消耗品・別売品

メーカー希望小売価格は2020年12月現在

消耗品

品名	部品番号	メーカー希望小売価格(税込)
活性炭フィルター	ACA95-119-K	1,100円

- 交換の目安について
1日1回使用したとき：約2年(水質、使い方により異なります。)


別売品

品名	部品番号	メーカー希望小売価格(税込)
完成ガラス容器(ふたなし)	ACA10-1421K0	3,300円
計量スプーン	ANC8330-569R	110円
ペーパーフィルター(50枚)	ANC362S-5370	330円
ジャーボット洗浄用クエン酸※ (40g×2パック)	SAN-80	308円

- ※200g、400g入りもあります。
- ※添付の注意書をよくお読みになってからご使用ください。
- ※食品添加物につき、食品衛生上無害です。

消耗品・別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求め
いただけるものもあります。
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトを
ご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト
<https://ec-plus.panasonic.jp/>



仕様

電源	交流 100 V 50 – 60 Hz
定格消費電力	800 W(オートクリーニング時)
大きさ(約)	幅22.0 × 奥行24.5 × 高さ34.5 cm
質量(約)	3.0 kg
コード長さ(約)	1.0 m

ミル

定格消費電力	80 W
最大使用容量	40 g(コーヒー豆)※
定格時間	60 秒

抽出

定格消費電力	750 W
最大使用水量	670 mL
温度ヒューズ	熔断温度 192 ℃

※豆の種類や、ばい煎の度合いによって重さは異なります。

- 電源プラグを差し込んだだけでの消費電力
60 Hz：約0.6 W 50 Hz：約0.9 W
- この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理 などは
■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () –

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな?」(P.18～19)でご確認のあと、
直らないときは、まず電源プラグを抜いて、
お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 コーヒーメーカー

●品番 NC-A57

●故障の状況 できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間(ただし、活性炭フィルターは、消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。)

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料

診断・修理・調整・点検などの費用

部品代

部品および補助材料代

出張料

技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **5年**
当社は、このコーヒーメーカーの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、22ページのご相談窓口にご連絡ください。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理
登録商品のサポートも充実

詳しくはこちら
https://club.panasonic.jp/aiyo/

本体側面に表示してあるQRコードから登録していただくと、
品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録
いただけます。

・QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

サポート総合窓口 <https://panasonic.jp/support>

調理商品
使い方・お手入れなどのご相談窓口

フリーダイヤル
1120-878-694

受付時間
9:00~18:00 月~土曜日
(祝日・正月三が日を除く)

■上記電話番号がご利用
いただけない場合

06-6907-1187

■FAX フリーダイヤル

0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays / national holidays)

修理に関するご相談窓口

フリーダイヤル
1120-878-554

■上記電話番号がご利用
いただけない場合

03-6633-6700

<https://panasonic.jp/support/repair.html>

- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに
利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただく
ときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を
委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検

長年ご使用のコーヒーマーカーの点検を！

こんな症状はありませんか

●電源プラグ・コードが異常に熱くなる。

●コードに傷がついたり、触れると通電した
りしなかったりする。

●本体が変形したり、異常に熱い。

●ガラス容器の取っ手がぐらつく。

ご使用中止

事故防止のため、使用
を中止し、コンセント
から電源プラグを抜い
て、必ず販売店に点検
をご依頼ください。

パナソニック株式会社　くらしアプライアンス社

〒525-8520　滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2018

22

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間
内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離し
た本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、修
理ご相談窓口にご連絡ください。

2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または修理ご
相談窓口にご相談ください。

3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない
場合には、修理ご相談窓口へご連絡ください。

4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害
(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)など
による故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
ただし、車載を目的とした機器を除く
(ホ) 一般家庭用以外 (例えば、業務用など) に使用された場合や指定外
の動作環境で使用された場合の故障及び損傷
(ヘ) 本書のご添付がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、
あるいは字句を書き替えられた場合
(チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお
客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、
出張料はお客様の負担となります。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

7. 修理ご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照く
ださい。

修理メモ

※ お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料
修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合
がございますのでご了承ください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を
お約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行
している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の
法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の
修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談
窓口にお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説
明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※ 修理に際し、本体交換による修理となる場合や再生部品、代替部品を
使用する場合がございます。交換した本体、再生部品は回収させてい
たいただきます。

※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

コーヒーマーカー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	NC-A57		
保証期間	お買い上げ日から 本体1年間 (ただし、活性炭フィルターは除きます)		
※ お買い上げ日	年 月 日		
※ お客様	<div>ご住所 お名前 電 話 () - 様</div>		
※ 販売店	住所・販売店名 電 話 () -		

パナソニック株式会社 くらしアプライアンス社

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号 TEL(077)563-5211

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。

切
取
線